

令和 8 年度 64 回生 授業概要(シラバス)

科目名	倫理学	分野/教育内容	基礎分野/科学的思考の基盤	
開講年次・時期	1 年前期 令和 8 年 9 月 8 日	単位数/時間	1 単位/30 時間	
担当講師名	音喜多 信博	所属・職位	岩手大学人文社会科学部・教授	
		資格・免許		
	二瓶 真理子	所属・役職	岩手大学人文社会科学部・准教授	
		資格・免許		
授業の概要	医療現場における人間の生と死をめぐる諸問題について、生命倫理的な観点からの議論を紹介する。			
到達目標	終末期医療、安楽死、予防医療などにまつわる、倫理的・法的・社会的問題について基本的な知識を得るとともに、自らの死生観と照らし合わせながら、これらの問題についての自分なりの意見を形成する。			
事前学習内容	特になし			
成績評価の方法	終講試験により評価するが、授業中に書く小レポートや受講姿勢も考慮する。			
使用教科書	教科書は使用せず、資料プリントを配布する。参考文献については、授業中に適宜紹介する。			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態	担当
第 1 回	現代社会における死の特徴		講義	音喜多
第 2 回	インフォームド・コンセントについて			
第 3 回	生命倫理学の四原則			
第 4 回	終末期医療と QOL 概念			
第 5 回	安楽死の定義と区分			
第 6 回	積極的安楽死をめぐる日本と海外の状況			
第 7 回	安楽死をめぐる哲学的問題			
第 8 回	治療中止をめぐる厚生労働省のガイドラインについて			
第 9 回	健康とはどのような状態か？		講義	二瓶
第 10 回	予防医療をめぐる諸問題			
第 11 回	エンハンスメントと治療の線引きの問題			
第 12 回	エンハンスメントと自己決定の問題			
第 13 回	公衆衛生と個人の自由の問題			
第 14 回	私たちは健康であるべきか？			
第 15 回	終講試験			
履修上の留意点	1. 授業中に配布する資料プリントを、授業終了後に精読すること。 2. 授業中に映像資料を視聴して、それについての意見を小レポートにまとめたり、ディスカッションしたりする機会も設ける予定である。			